

劉建輝氏のコレクションからは扇面画を、中国気鋭画家の張兆林氏は新作となる山水画を展示します。扇形をした画面に描かれた扇面画は平安時代の日本で初めて作られ、その後中国に伝播したと言われています。本展では、満州国国務院総務庁長官等を歴任した駒井徳三に送った、ラストエンペラーの溥儀夫人の扇面画など、数多くの扇面画を展示します。また張兆林氏は世界各国で個展を開催しており、新作を展示します。

※講演・二胡演奏会は各日定員 30 名(先着順)。下記の QR コードから、「お名前」欄の横に「聴講希望」とお書き下さい。

## 3.20 講演会 & 二胡演奏会 13:30-16:00

司会 / 森岡優紀 (国際日本文化研究センター)

13:30-14:30 劉建輝 (国際日本文化研究センター・教授)  
「なぜこんなに多くの中国絵画が日本で流布しているのか  
—近代日中文化交流史の視点から考える」

14:30-15:00 休憩 (呈茶等)

15:00-16:00 二胡演奏会 (アンサンブル藍花) ※当日曲目変更有  
塙生の宿 / さよならの夏〜コクリコ坂から〜 / スカパローフェア  
/ イエスタデイワンスモア / ユーレイズミーアップなど

張兆林 (書画家)

中国北京生まれ。号は半在山。北京市工芸美術学校 (現北京工業大学芸術設計学院)、首都師範大学、中央美術学院にて中国伝統書画を専攻。観復博物館に勤務後、北京画院と中国芸術研究員の助教として伝統山水画の指導に当たる。その後、書画家として活躍し、中国美術館 (1999)、北京工業大学美術館 (2018)、カナダ・トロント市庁舎 (2020)、京都・玉蔵院 (2025) 等で作品展開催。北京工筆画会、北京コレクター協会会員。



## 3.21 講演会 14:00-15:00

司会 / 森岡優紀 (国際日本文化研究センター)

14:00-15:00 太田梨紗子 (神戸大学・博士課程)  
「京都画壇における中国絵画」



※写真はイメージです。

有職菓子御調進所老松の京菓子の一席をご堪能下さい。口中に春の豊かな味わいを生み出し、展覧の山水画と響き合います。※講演等の後は混み合いますので、その前にお楽しみ下さい。

**入館料 2000 円 (抹茶・京菓子付)**

事前予約制。氏名・連絡先・来館日を明記し、y\_morioka@nichibun.ac.jp か QR コードでお申込み下さい。会場へのお問い合わせは御遠慮下さい。

**要予約**



2026.3.20 SUN - 22 FRI

# 有斐斎弘道館

京都市上京区上長者町通新町東入ル元土御門町 524-1  
京都御所西、江戸中期の名儒・皆川淇園の学問所址に再興された数寄屋建築と日本庭園

A 烏丸今出川交差点を南へ  
B 烏丸上長者通を西へ曲る  
C 室町通をこえ北に弘道館  
京都駅から  
[市バス] 205 系・烏丸今出川  
[地下鉄] 今出川駅  
四条河原町駅から  
[市バス] 201・203・7 系統・  
烏丸河原町



[主催] 東西文化交渉研究会

[連絡先] 事務局

[後援] 科学研究費助成事業 基盤 C 「清末における過渡期的叙述と歴史認識」

<http://kindaitozaibunka.wixsite.com/artbrut>  
kindaitozaibunka@gmail.com



科研費  
KAKENHI